

2016年6月27日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第22号

サンタ・テレザ地区で「パンク窃盗」が発生

当地文民警察観光部隊によれば、6月25日（土）午前中、サンタ・テレザ地区で、短期滞在中の日本人がパンクした車両を修理中、車内から現金等を持ち去られる被害に遭いました。

1 発生日時

6月25日（土）午前中

2 発生場所

リオ市内サンタ・テレザ地区路上

3 発生状況

上記日時において、日本人がパンクした車両を修理中、いつの間にか車内においてあった多額の現金、業務用資機材等を盗まれる事件が発生しました。今回の事件は、その状況から「パンク窃盗・強盗」の可能性がります。

4 「パンク窃盗・強盗」とは

「パンク窃盗」は、車両のタイヤを故意にパンクさせ、車が停止してタイヤを交換している間に、車内から金品を盗み出したり、車内外の人を凶器等で脅して金品を強取したりする犯罪です。パンクさせる手口としては、釘等を駐車中の車のタイヤの下に置いたり、走行中の車両を追い越す際にタイヤの前に撒いたりしています。

今回のように、金品を奪う際もタイヤの修理中に車内からこっそり金品を盗み出すという方法もありますが、車が停まると刃物等の凶器を示し、運転席や助手席の窓ガラスを破壊して強引に奪う方法もあります。

5 注意すべきこと

- ①銀行で多額の現金をおろした後、②高級カメラ等で屋外を撮影後、③レストランで食事後等は、特に「パンク窃盗・強盗」の可能性を念頭に入れて下さい。
- 犯人は、車両のパンクで気が動転している隙を突いて、こっそり盗みを働いたり、人々を脅したりします。こうした場合も常に冷静に対処するよう心がけましょう。